



中華民國 台灣投資通信

発行：中華民國 經濟部 投資業務処 編集：野村総合研究所(台湾)

March 2016

vol. 247

■今月のトピックス

台湾メディカルツーリズムの発展及び
関連産業への結びつきとその発展

■日本企業から見た台湾

～台湾藤田観光(股)有限公司
亀多武司総経理インタビュー～
台湾にて本格的な懐石料理店を展開する藤田観光

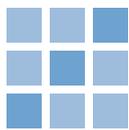
■台湾進出ガイド

サイエンスパーク及び環境保護
テクノロジーパークの情報

■台湾マクロ経済指標

■インフォメーション

【今月のトピックス】



台湾メディカルツーリズムの発展及び 関連産業への結びつきとその発展

台湾では優れたメディカルツーリズムサービスを提供しており、2010年から「台湾医療サービス国際化行動計画」を実施している。高品質な医療により患者の健康増進を進め、医療サービスの向上、医療の情報化、医療及び健康産業の活性化、健全で安全な医療環境、医療サービスの更なる国際化を進めている。台湾医療の国際イメージを向上させるため、「医療走出去、顧客走進來(医療の国際化で、患者(顧客)が台湾を訪れる)」というビジョン実現を目指している。また、台湾のメディカルツーリズムサービスの向上と共に、医療産業全体の持続的な発展に向けた取り組みも進んでいる。

台湾メディカルツーリズムの発展

台湾におけるメディカルツーリズムは、医療水準の高さや東アジア及び東南アジアにおける地理的な優位性・文化的な近似性により、特に近隣の新興国市場において大きなポテンシャルを秘めている。台湾から近隣諸国の中国や東南アジア各国との距離は近く、どこかの国に行くにも6時間以内のフライトで移動が可能である。また、台湾医療の質は高く、サービスもきめ細やかであり、最先端の器材も整備されており、ソフト及びハード面で強みを有する。中国や東南アジア各国との文化的・言語的な障壁も低く、各国の所得が徐々に上昇していることから医療への関心の高まり、中国及び東南アジア市場からメディカルツーリズムとして患者を呼び寄せる活動の推進を後押ししている。

台湾の多元的文化背景及び環境が メディカルツーリズム推進の強みに

台湾は環太平洋地域の中心に位置し、活発な製造業が経済発展の一環を担っている。また、外国人の受け入れに対して寛容であり、外国人配偶者や労働者、学生等のいわゆる「新住民」と呼ばれる外国人も増加している。外国人配偶者数は既に50万人に達しており、中国出身者が33万人と最も多く、次いでベトナム、インドネシアなどの東南アジア諸国及

びその他各国の配偶者が台湾に居留している。また外国人配偶者の他に、ブルーカラーも多く受け入れており、主に東南アジア諸国のインドネシア、ベトナム、フィリピン、タイの出身者が多い。2015年のブルーカラーの労働者数は既に58万人を突破しており、インドネシア出身者が最多で、次いでベトナム、フィリピン、タイと続く。その他、主に中国及び東南アジアを中心とした学生約15,000人が就学しており、出身国の内訳はマレーシアが最多の5,000人で全体の約三分の一を占め、次いで香港、マカオ、インドネシアと続いている。

新住民向け医療環境も更に多元化

現在台湾の地方自治体は、文化や言語の異なる新住民向けに、主に人間ドッグや妊婦健診に関して各種補助制度を実施している。また、数多くの病院で新住民向けの支援サービスを実施している。新北市立聯合病院板橋分院、三重分院、亜東病院等ではインドネシア語、英語、ベトナム語、タイ語等の通訳サービスを提供しており、治療過程におけるアattendサービスにより、入院や転院、退院関連手続きのサポートや新住民向け社会福祉サービスのコンサルティングを実施している。同様に、高雄市では新住民の妊婦向けのガイドブックをベトナム語版及びインドネシア語版で作成している。

多角的に発展する台湾メディカルツーリズムが中国及び東南アジアからの患者を魅了

台湾の医療機関は、多言語対応の設備やサービススタッフの配置を含めた多言語対応環境の整備を継続的に進めている。外国人がより利用し易い医療サービスに向けて、これまで新住民向けに進めてきたサービスを参考にしながら、更に多様な国々の外国人向け医療サービスの拡充に取り組んでいる。

以下の図が示すように、台湾メディカルツーリズムの外来診察は中国からの利用者及び東南アジアからの利用者がそれぞれ3割を占めている。入院患者では、6割以上が中国からの利用者であり、東南アジアからの利用者も2割を占めている。美容医療に関しては、中国からの利用者が5割、東南アジアの利用者は3割を占め、人間ドックについては、約85%が中国からの利用者である。これは、台湾の高度な医療技術が広く認められていることを示しているだけでなく、医療環境が多角的に発展していることも示しており、台湾のメディカルツーリズムは安定した成長を続けている。

図1：台湾メディカルツーリズムの主な利用者(2015年1～11月)

目的	受診者数	国別比率	
外来	180,592	東南アジア	32.1%
		中国	30.5%
入院	5,794	中国	57.4%
		東南アジア	20.9%
美容	4,112	中国	49.1%
		東南アジア	30.2%
人間ドック	78,127	中国	84.4%

出所：衛生福利部資料よりNRI作成

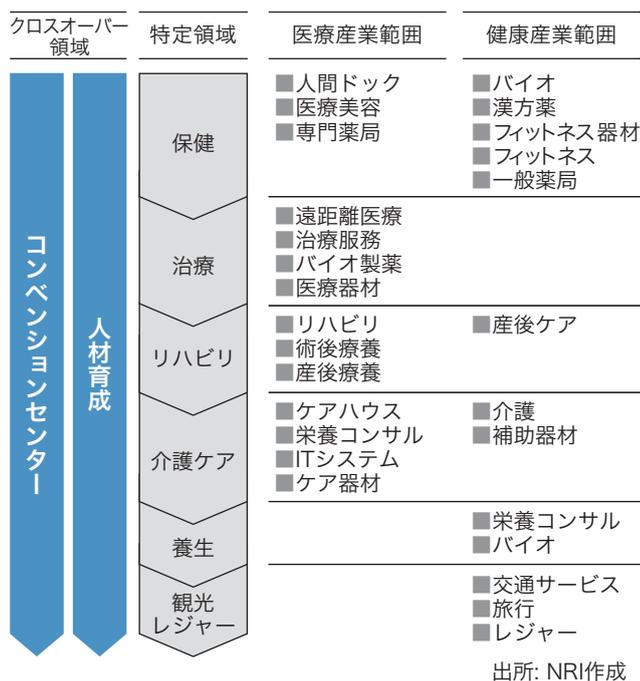
台湾メディカルツーリズムの関連産業

メディカルツーリズムに関連する産業は広範囲に及び、例えば多機能・多用途型のコンベンション施設や人材育成の他、ヘルスケア、治療、リハビリ、介護、養生、観光レジャー等の分野が含まれる。更に、健康産業にはバイオテクノロジーや、漢方薬、フィットネス器材、フィットネスジム、産後ケア、介護、栄養指導コンサルティング、旅行レジャー等も含まれる。(図2)

引き続き中国及び東南アジア市場にフォーカス

2015年、台湾を訪れた観光旅客は991万人である。この内、中国人がトップで全体の40%を占め、418万人に達している。次いで、第3位は香港・マカオからの旅客14.5%、151万人、第4位は東南アジアからの旅客13.7%、143万人と続く(日本からの旅客は第2位の163万で、全体の16%を占める)。

図2 メディカルツーリズム関連産業



こうしたデータからも分かるように、中国及び東南アジア諸国は台湾との往来が非常に緊密であり、将来的に中国及び東南アジア諸国向けのメディカルツーリズムは医療サービスをより一層拡充させることで、更なる成長が期待できる。

医療サービスの他、更に多くの関連産業が発展

メディカルツーリズムから派生する医療及び健康関連産業は多岐に渡るが、それ故に特定市場におけるニーズと台湾の特色ある医療の優位性をリンクさせて推進していく必要がある。一例として特に注力している分野に、高級人間ドックやマイクロサージャリー、インプラント治療等がある。高級人間ドックを基軸にしながら、派生するマイクロサージャリー、そしてこれに関連する医療器材・リハビリ・介護ケア等の産業、インプラント治療に関連する人工歯や人工歯根等、その他介護ケアや観光レジャー産業等への関連性を高めながら推進を図る。但し、こうして派生する産業を個々に推進してはメディカルツーリズムとしての高い成果は見込まず、また差別化を図ることも困難である。派生する各産業を結び付け、今後のメディカルツーリズム推進関連産業の核心として位置付け、それぞれが価値ある産業として市場全体を牽引していけば、将来的には台湾の医療産業を輸出する日もそう遠くはないはずである。

(黄慧慈:h3-huang@nri.co.jp)

台湾にて本格的な懐石料理店を展開する藤田観光

藤田観光は、東京に本社を置き、ホテル、結婚式、レジャー事業等を展開する企業である。2012年に代表者事務所を設置した後、2016年1月台北市内に高級懐石料理店「錦水TAIPEI by Hotel Chinzanso Tokyo」(以下、錦水TAIPEI)をオープンし台湾事業を本格的にスタートさせた。近年訪日台湾人観光客が増加する中、日本食に精通した台湾人や台湾在住の日本人に対して「日式」ではない本来の日本食文化を提供している。今回は、台湾藤田観光(股)有限公司の亀多総経理を訪ね、台湾拠点設立の経緯や市場環境、今後の事業展望についてお話を伺った。

一 貴社事業の概要及び進出の経緯について

当社は、主にWHG事業(ビジネス・観光向けホテル)、リゾート事業、ラグジュアリー&バンケット事業の3事業を展開する企業グループです。昨年2015年で設立60年を迎えました。WHG事業では、ビジネスニーズに応える「ワシントンホテル」、観光ニーズに応える「ホテルグレースリー」を日本全国で展開しています。また、リゾート事業については、「ホテル小湧園」や温泉テーマパークの「箱根小湧園ユネッサン」をはじめとしたリゾートホテルやレジャー施設を展開、ラグジュアリーバンケット事業としては、東京の「ホテル椿山荘」、大阪の「太閤園」などの婚礼・宴会施設を展開しています。

海外事業は、2010年の上海駐在員事務所設立から始まり、現在ではソウル、台北、シンガポール、バンコク、ジャカルタに拠点を設けています。現地法人は、上海、ソウルに続き、台北で3拠点目になりました。韓国では、ローカル企業と連携し、2018年のホテルの開業に向けて事業活動を進めています。

当社は、2015年～2019年の中期経営計画の中で、「ホテル椿山荘東京」ブランドを核にした高品質な事業展開を戦略のひとつに掲げており、その一環で海外への事業展開を積極的に進めています。台湾には、2012年の12月に代表者事務所を設立し、台湾進出に向けた市場調査を開始しました。その後、2015年10月に現地法人を設立して本格的に事業活動を開始し、2016年1月にホテル椿山荘東京内で



台湾藤田観光(股)有限公司 亀多武司総経理

展開している高級懐石レストラン 錦水TAIPEIを台北市中山区にオープンしました。

台湾市場への進出を検討したきっかけは、日本の当社ホテルを数多くの台湾人のお客様にご利用頂いていることが挙げられます。近年の円安の進行や日台間の直行便増加により、日本を訪れる台湾人の数が急増しており、当社ホテルをご利用頂いた台湾人のお客様は中国、韓国次いで3番目に多くなっています。

一 台湾における事業内容について

現在台湾では、懐石料理店 錦水TAIPEIを展開しています。台湾事業において、先ずレストラン事業の展開を検討したきっかけは、台湾内での本格的な日本食へのニーズの高まりがあります。日本を訪れる台湾人の方は年々増加しており、2015年通年では360万人に達しました。そのため、台湾人の中には、日本食に精通した方が数多くいらっしゃいます。そこで、「日式」(日本料理を台湾風にアレンジした料理)ではなく、日本で提供している味付けやサービスと同じものを提供することに対してニーズがあると考えました。また、台湾で錦水TAIPEIの料理やサービスの質を知っていただくことで、当社の日本のホテル・レストラン事業へのインバウンド事業にも波及していくことを期待しています。

錦水TAIPEIでは、台湾の味付けに流されず、ホテル椿山荘東京で提供している料理をそのままの味付けで提供するこ

日本企業から見た台湾

とで、本物の日本食を求めのお客様のニーズにお応えしています。日本からは調理長、店長、女将を帯同し、料理やサービス体制において日本のおもてなしを徹底しています。また、接客するフロアスタッフは日本語検定1級を持つ台湾人の方を揃えており、台湾人のお客様はもちろんのこと、日本人のお客様に対しても質の高いサービスを提供することを目指しています。

お料理についても様々な趣向を凝らしており、ライブキッチンで調理した揚げたての天麩羅や、日本のシンボルである富士山の溶岩石板で油を引かずにヘルシーに仕上げた石焼料理などを提供しており、また茶道の資格を有する女将による茶道のパフォーマンスなども定期的開催しています。

台湾の市場環境について

台湾には様々な国の料理が揃っており、日本食についても寿司、定食、ラーメン店などが数多く進出しており、日本料理自体が受け入れられやすい環境であるという印象があります。また、台湾では共働きが一般的であることから外食比率が非常に高いと認識しています。価格帯については、日系レストランの価格帯を調べる中で、日本と同じか少し高い位の価格設定でも受け入れられており、良質の食に対してきちんとお金をかける文化があります。同時に質の良い料理やサービスを提供することで、当社の展開する高価格帯の懐石料理についても十分ニーズがあると考えています。一方で、日本に比べてお酒を飲む比率が低く、食事をメインで楽しむ方が多いという点は、日本とは多少違う台湾市場ならではの特徴です。

レストラン開業にあたって一番苦労した点は、適切な物件の確保です。当社の展開するレストランの業態から考えて、当初から台北市内の大安区や中山区への出店を考えていましたが、レストラン向けのインフラが整っている物件の空きが少ない、周辺環境が当社のレストランのイメージと合わない、物件の流動性が高く良い物件にはすぐに借り手が付いてしまう等、物件決定までには様々な紆余曲折がありました。

今後の事業展望

今後の事業展開については、まずは錦水TAIPEIの経営を軌道に乗せていくことに注力していきますが、他事業についても検討しています。まず、レストラン事業については台湾北部にて錦水とは別ブランドのレストラン展開についても検討しています。また、ホテル事業についても検討をしていきたいと考えています。台湾から日本への渡航客と比べると数は少ないですが、日本から台湾への観光やビジネスニーズはありますので、そのニーズに対して当社が日本で展開しているホテルサービスを提供する可能性について、今後も前向きに検討していく予定です。

また、日本へのインバウンド事業の取り組みも積極的に進めていきたいと考えています。台湾から日本を訪れる観光客のリポート率は大変高く、2回目以降の旅行で地方へ行かれる方も多くと認識しています。そこで錦水TAIPEIを通して当社を知っていただいたお客さまに対して東京の施設で対応するだけでなく、地方都市に旅行される際にも当社の施設をご利用頂くことも期待しています。

今後当社として和食文化の普及への貢献とホテルブランドの認知度向上を目指すうえで、台湾のお客様に対して台湾拠点を入り口として当社のサービスラインアップを認識いただくなど、海外事業の先頭に立つような拠点になっていきたいと考えています。

ありがとうございました

台湾藤田観光(股)有限公司の基本データ

会社名	台灣藤田觀光股份有限公司
董事長	都築輝巳
設立	2015年10月21日
所在地	松山區南京東路3段287號10樓
資本金	1,000万元
従業員	25名(内、日本人5名)
事業内容	日本料理レストラン「錦水TAIPEI by Hotel Chinzanso Tokyo」の運営

注) 2016年3月時点のデータによる
出所) 公開資料及びヒアリングよりNRI整理



サイエンスパーク及び 環境保護テクノロジーパークの情報

本号では、台湾のサイエンスパーク、環境保護テクノロジーパークの基本情報(敷地面積、賃料、入居状況)について紹介する。

<サイエンスパーク>

2016年2月現在		新竹サイエンスパーク	新竹サイエンスパーク (第四期)	中部サイエンスパーク	南部サイエンスパーク	
面積	開発総面積(ha)	653	竹南園區：129 銅鑼園區：350 龍潭園區：107 生醫園區：38 宜蘭園區：71(開発中)	台中園區：466 虎尾園區：96.11 后里園區：255.67 高等研究園區：258.97 二林園區：631.23(開発中)	台南園區：1043 高雄園區：570	
	入居可能面積	土地(ha)	0	竹南園區：0 銅鑼園區：38.25 龍潭園區：0.62 生醫園區：8.638 宜蘭園區：31.04	台中園區：0 虎尾園區：3.78 后里園區：8.78(七星基地) 高等研究園區：0 二林園區：12.80	台南園區：13.46 高雄園區：17.12
		標準工場	7単位	竹南園區：2単位	台中園區：5単位	台南園區：15単位 高雄園區：17単位
入居企業数			476	294	200	
費用	賃料	土地賃料(元/m ² /月)	53.62	竹南園區：25.83 銅鑼園區：18.83 龍潭園區：15.83 生醫園區：71.41 宜蘭園區：6.91	台中園區：素地租金14.26 虎尾園區：素地租金6.25 后里園區：素地租金3.81 高等研究園區：素地租金10.61 二林園區：素地租金1.03	台南園區：素地租金4.49 高雄園區：素地租金2.92
		公共施設建設費(元/m ² /月)	龍潭以外は賃料に加算済み		台中園區：10.6 ~ 26.49 虎尾園區：15.61 后里園區：24.22 高等研究園區：0 二林園區：2.31	台南園區：22.52 高雄園區：12.11
	標準工場賃料(元/m ² /月)	98~126	竹南園區：125	88	91~113	
	管理費	年営業額の0.19%				
	連絡先	サイエンスパーク管理局 投資組 投資服務科 龔裕盛 科長 03-577-3311#2210		中部サイエンスパーク管理局 投資組 鍾文博 科長 04-2565-8588#7311	南部サイエンスパーク管理局 投資組 上官天祥科長 06-505-1001#2130	

出典)各サイエンスパークの資料をもとにNRI作成

<環境保護テクノロジーパーク>

2016年2月現在	総面積(ha)	未入居面積(ha)	総企業数	土地賃料(元/坪)
高雄環保科技園區	40	0	25	量：67,015(販売のみ) 研：400(賃貸のみ)
桃園環保科技園區	31	0	15	量：32,538(販売のみ) 研：178(賃貸のみ)
台南環保科技園區	30	0	13	量：21,663~22,555

量-量産実証区;研-研究開発区

各パークの連絡先

高雄環保科技園區	本洲工業園區	07-624-1731	Mr.王獻進
桃園環保科技園區	花蓮県環保局	03-473-0214 ext.31	Mr.彭存偉
台南環保科技園區	台南市環保局	06-657-2916 ext.517	Mr.張兆輝

出典)環境保護テクノロジー各パークの資料をもとにNRI作成 注)上記の数字は、すべて2016年2月現在の数値である。

台湾マクロ経済指標

年 月 別	国内総生産額		製造業 生産年増率 (%)	外国人投資 (千米ドル)		貿易動向 (億米ドル)						物価年増率(%)		為替レート	
	実質GDP (100万元)	経済 成長率(%)		総金額	日本	輸出 年増率(%)	輸入 年増率(%)	貿易収支 年増率(%)	卸売物価	消費者 物価	NTD/USD	JPY/USD			
													輸出	輸入	貿易収支
2009年	12,462,729	-1.57	-7.97	4,788,993	238,961	2,036.7	-20.3	1,743.7	-27.5	293.0	93.0	-8.74	-0.87	33.05	93.57
2010年	13,787,642	10.63	28.60	3,798,680	399,984	2,746.0	34.8	2,512.4	44.1	233.6	-20.3	5.46	0.96	31.64	87.78
2011年	14,312,200	3.80	5.12	4,903,901	444,703	3,082.6	12.3	2,814.4	12.0	268.2	14.8	4.32	1.42	29.46	79.81
2012年	14,607,569	2.06	-0.32	5,547,319	414,265	3,011.8	-2.3	2,704.7	-3.9	307.1	14.5	-1.16	1.93	29.61	79.79
2013年	14,929,292	2.2	0.56	4,924,480	408,533	3,054.4	1.4	2,699.0	-0.2	355.4	15.7	-2.43	0.79	29.77	97.60
2014年	15,515,257	3.92	6.63	5,770,024	548,763	3,200.9	2.8	2,818.5	1.4	382.4	14.4	-0.57	1.20	30.37	105.94
2015年															
1月			8.17	311,598	18,673	254.9	2.9	211.1	-3.4	43.8	49.6	-7.87	-0.94	31.69	118.31
2月	3,789,921	4.04	2.31	433,810	24,881	201.7	-6.6	156.8	-22.7	44.9	241.4	-8.82	-0.20	31.57	118.56
3月			7.33	485,367	62,320	256.4	-9.4	219.4	-17.6	37.1	119.5	-8.82	-0.62	31.53	120.39
4月			1.27	280,290	59,711	238.0	-12.3	193.0	-22.1	45.1	89.8	-9.12	-0.82	31.13	119.55
5月	3,839,951	0.57	-2.76	199,062	27,565	260.2	-4.2	207.3	-5.8	52.9	2.3	-9.67	-0.73	30.72	120.69
6月			-0.89	270,111	20,172	233.8	-14.8	214.5	-16.2	19.3	4.9	-9.46	-0.56	31.11	123.75
7月			-2.77	320,771	75,285	238.3	-12.7	205.4	-17.7	32.9	40.7	-10.23	-0.63	31.34	123.24
8月	3,945,146	-0.8	-5.93	414,682	19,596	244.1	-14.6	208.4	-15.1	35.8	-11.3	-9.46	-0.44	32.39	123.23
9月			-5.81	586,589	8,087	229.8	-14.7	180.5	-22.9	49.2	40.2	-8.71	0.30	32.89	120.29
10月			-6.50	374,073	31,395	244.5	-10.7	187.1	-18.8	57.4	32.5	-8.67	0.31	32.73	120.06
11月	4,055,898	-0.52	-4.84	438,514	59,117	226.0	-17.2	204.6	-11.4	21.5	-48.7	-7.95	0.53	32.80	122.53
12月			-5.29	668,674	46,360	225.5	-13.8	184.0	-14.9	41.5	-8.3	-7.23	0.14	33.01	121.92

出所：中華民国經濟部統計処

インフォメーション・コーナー

2016年台湾国際医療産業見本市
(MEDICARE TAIWAN 2016)

概要	Medicare Taiwanは、台湾や海外のヘルスケア関連企業による最先端の開発成果や製品が一堂に会する台湾最大の医療産業見本市である。同時期に、「シルバー・ヘルスケア見本市」、「漢方・機能性食品見本市」、「台湾国際ベビー・キッズ&マタニティ見本市」も開催の予定で、医療・介護から育児、機能性食品に至るまで、人の一生をケアするという観点で様々なブースが出店される。詳細は下記サイトまで： http://www.medicaretaiwan.com/zh_TW/index.html
日時	2016年6月16日(木)～6月19日(日)
出品物及び展示テーマ	医療器具(病院設備、IT設備他)、救急設備、手当用品及び消耗品、医療用IT・通信製品、診断器具・設備、医療サービス、医学図書、外科手術器具、製薬、歯科・整骨科用機器及び設備、保健用品及びリハビリ製品、生化学検査設備、消毒滅菌器具、実験器具、車椅子、電動カート及び部品 等
展示会場	世貿一館(台北市信義路5段5号)
主催	中華民国対外貿易発展協会(TAITRA)、台湾メディカルバイオテクノロジー協会
お問合せ及び資料請求	台湾貿易センター(TAITRA)東京事務所 TEL: 03-3514-4700 FAX: 03-3514-4707 E-mail: tokyo@taitra.gr.jp 中華民国対外貿易発展協会(TAITRA) TEL: 886-2-2725-5200(展五組 方小姐 内線2855) E-mail: medicare@taitra.org.tw

ジャパンデスク連絡窓口 (日本語でどうぞ) ジャパンデスクは、日本企業の台湾進出を支援するため、台湾政府が設置しています。野村総合研究所が無料でご相談にのります。お気軽にご連絡ください。

經濟部
投資業務処

台北市館前路71号8F TEL: 886-2-2389-2111 / FAX: 886-2-2382-0497
担当: 陳惠欽 ext.218

野村総合研究所(台湾)

台北市敦化北路168号10F-F室 TEL: 886-2-2718-7620 / FAX: 886-2-2718-7621
担当: 田崎嘉邦 ext.130 / 平山直人 ext.135 / 洪采滢 ext.121

野村総合研究所
経営革新コンサルティング部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル TEL: 03-5533-2709(直通) / FAX: 03-5533-2537
担当: 杉本洋

● ジャパンデスク専用 E-mail: japandesk@nri.co.jp ● ホームページ <http://www.japandesk.com.tw>

個別案件のご相談につきましては、上記ジャパンデスク専用Eメール、もしくは野村総合研究所(台湾)宛にお願い致します。